広報こおり

2
Feb.2026
vol.674

輝く未来へ新たな門出――

桑折町二十歳の成人式

献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

＼ 20 years old ／

＼ 久々の再会 ／

＼ たくさんの人に感謝 ／

＼ 大人の仲間入り ／

＼ Happy Day ／

祝 輝く未来へ新たな門出

二十歳の成人

冬晴れに恵まれた1月11日、「桑折町二十歳の成人式」がイコーゼで開かれ、華やかな振袖やスーツに身を包んだ76人の門出を祝いました。参加者は、旧友との再会を喜び、近況報告をするなど、一生に一度の成人式で思い出話に花を咲かせました。

式典では、一人一人が呼名を受けた後、代表の菅野和香奈さんが「久しぶりに顔を合わせる仲間や、いつでも帰ることのできる桑折町の存在は、私たちにとって大きな心の支えとなっている。町制施行70周年という節目の年に二十歳を迎えたことを誇りに思いながら、その歩みを未来へとつないでいく存在でありたいと願う」と力強く宣言。町長をはじめ、中学時代の恩師などが出席し、目を細めて晴れの日を祝福しました。

Check　Photo

町ホームページ

当日撮影した写真はこちらにも掲載しています。思い出の写真をスマートフォンに保存して、友達や家族と共有しましょう！

町の飛躍を願う 町民新年挨拶会

桑折町民新年挨拶会が1月5日、JAふくしま未来桑折支店ふれあいホールで開かれ、約150人が出席しました。はじめに、髙橋宣博町長が「本年は、町制施行70周年記念事業を通して得られた町民のみなさんとの共創のもと、地域資源を活用した桑折ならではの特色ある各種施策に取り組んでいきますので、さらなるご支援をお願いします」とあいさつ。続いてJAふくしま未来の半澤正志桑折地区担当理事、桑折町商工会の渋谷浩一会長が新年の抱負を語りました。会場には、商工業・農業・行政などの多様な分野・団体から多くの参加者が集い、昨年の取り組みや今年1年間の展望などを話し合いながら親睦を深め、一層の町政発展を願いました。

1_町長をはじめ、各団体の代表らが新年の抱負を語りました
2_実りある1年となるよう祈念して行われた鏡開き

歴史と文化を巡り未来のまちづくりを共有 県知事と町長の意見交換会

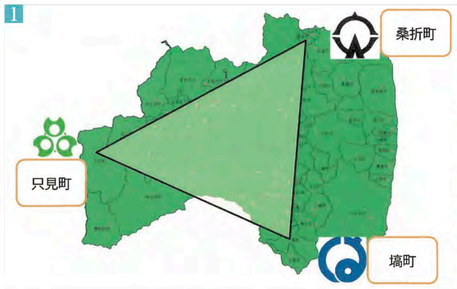
内堀雅雄県知事と髙橋町長の意見交換会が1月7日、町内で行われました。当日は、身近にある芸術作品や福島県ならではの自然、伝統文化などを巡り、県民一人一人が気軽に無理なく楽しみながら健康づくりに取り組む県事業「ふくしまアートウォーキング」の実践も兼ねており、県知事と町長は旧伊達郡役所と無能寺の御蔭廻松を訪れました。旧伊達郡役所では、町長が館内を紹介しながら、町のこれまでの取り組みや今後のまちづくりについて説明。無能寺では、県の天然記念物に指定されている御蔭廻松に触れながら、その歴史の重みを感じていました。内堀県知事と髙橋町長は、今後も相互に協力しながらまちづくりを進めていくことを確認し合いました。

▲町が誇る歴史に触れながら、まちづくりに関して意見交換を行い、相互協力を確認し合いました

県内3自治体による防災トライアングル協定 只見町と相互応援に関する協定締結

桑折町と只見町による「災害時における相互応援に関する協定」の締結式が12月23日、只見町役場で行われました。この協定は、いずれかの町で災害が発生し、被害者救援措置などを単独で実施できない場合に、資機材および物資の提供、人員の派遣、被災者受入れを行い、相互に連携することで住民の安全確保を図るものです。

町は昨年7月に塙町と同協定を締結しており、今回只見町と締結したことで、県北・会津・県南の3町で三角形を描く「防災トライアングル協定」となります。髙橋町長は「地理的条件から、同時に被災する可能性は比較的少なく、互いに地形や道路状況、気候を理解していることから現場に即した支援が行いやすく、より効果的な協力が可能となり、一層の危機管理体制の強化が期待できる」と話しました。只見町の渡部町長は「今回の協定締結はゴールではなく、スタートとして両町の人的交流を進めていきたい」と話しました。



1_三角形を描く3町が平時から連携　2_左から髙橋町長、渡部町長（只見町）、宮田町長（塙町）

誰もが安心して暮らせるまちづくりを みやぎ生活協同組合と包括連携協定締結

町とみやぎ生活協同組合による包括連携協定の締結式が1月16日、役場で行われました。

この協定は、暮らしの安全・安心などさまざまな分野で包括的な連携と協力関係を築き、地域の課題に適切に対応し、協働による事業を推進することにより、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」の実現に寄与することを目的としています。

式では、ホタピーとみやぎ生協・コープふくしま公式マスコットキャラクターの「ふくちゃん」と「はこぶんちょう」が駆けつける中、髙橋町長と尾川輝敏代表理事が協定書に署名。尾川代表理事は「生協の組織力を活かし、相互に連携しながら町に貢献していきたい」とあいさつ。今後、町は同組合とさまざまな連携事業を展開してきます。

1_(左から)ホタピー、髙橋町長、尾川代表理事、ふくちゃんとはこぶんちょう　2_協定書に署名する尾川代表理事と髙橋町長

企業版ふるさと納税寄附100万円 ㈱ウエストエネルギーソリューション

株式会社ウエストエネルギーソリューション（広島市）による企業版ふるさと納税の寄附金贈呈式が1月14日、役場で行われ、対馬将夫取締役（地域活性推進事業本部本部長）が髙橋町長に目録を手渡しました。

同社は、脱炭素社会実現に向けて、太陽光発電の開発やEPC事業※、省エネサービスの提供など、次世代へつながるトータルエネルギーソリューションを展開している企業で、昨年に引き続き2回目の寄附となります。対馬取締役は「今後も、町民のみなさんが安心して暮らしていけるように、微力ながら寄り添っていきたい」と話しました。

1_髙橋町長（左）に目録を手渡す対馬取締役　2_企業の取り組みやまちづくりについて懇談

※設計、調達、建設の3つの工程を1社が請け負うビジネス形態

町の農業振興のために 農業委員会が町へ意見書提出

町農業委員会は12月11日、町に対して、地域農業振興のため、現場からの要望や意見などをまとめた「農地等利用最適化推進に関する意見書」を髙橋町長に提出しました。

提出後、佐藤徳雄会長と浅野国英職務代理が、新規就農者への支援策や地域の担い手となる多様な人材の確保・育成策検討、有害鳥獣対策、遊休農地の発生防止など、町の農業振興のあり方や地域が抱える課題について町長と意見交換を行いました。

今後も、町と町農業委員会が協力し、農業のさらなる発展や課題解決に向けてさまざまな取り組みを行い、農業振興を図ります。

▲髙橋町長（左）に意見書を手渡す佐藤会長（中央）と浅野職務代理（右）

広　告

町民の生命と財産を守る決意新たに 町消防団出初式

町消防団の出初式が1月4日、町内で行われ、女性消防隊含む団員約180人が参加し、防火・防災へ取り組む気持ちを新たにしました。当日は、諏訪神社で無火災祈願を行った後、団員とポンプ車が列をなして、西町から北町にかけて県道を行進。ラッパ隊の演奏のもと、勇壮な姿を披露しながら、式典会場の地域交流センターに向かいました。統監（町長）による通常点検後に開かれた式典では、殉職された団員に対する黙とうや消防団綱領の斉唱、町長式辞、団長訓示が行われました。また、優良団員に対し桑折ライオンズクラブから徽章が贈られました。

▶市中行進を行う団員のみなさん

■受賞者（敬称略）

1分団2部	浅野真一	3分団2部	蓬田賢司
1分団3部	笠原善美	4分団2部	小山尚文
2分団1部	五十嵐健一	4分団4部	熊田智徳
2分団3部	鴨田智早	女性消防隊	渡部さほり
3分団1部	遠藤正儀		

多年にわたり消防活動に尽力 佐藤浩幸副団長が「藍綬褒章」受章

令和7年秋の褒章で、「藍綬褒章」を受章された町消防団副団長の佐藤浩幸さんの表彰伝達式が12月8日、役場で行われました。佐藤さんは平成元年に町消防団第4分団第3部に入団。その後、部長、分団長などを経て、現在は副団長として町民の生命・財産を守るべく、消防・防災活動に尽力しています。

式では、県北地方振興局の関根昌典局長が表彰を伝達し、長年の活動に感謝の意を表しました。髙橋町長は「消防団の統制を行い、献身的なご努力、団員の模範となる行動に敬意を表する。今後も、経験を活かしながら活動を続けてほしい」と功績をたたえました。

▲（左から）関根局長、佐藤浩幸さん、髙橋町長、斉藤団長

広　告

健闘を祈り激励
全国大会・国際大会激励金贈呈

全国大会、国際大会出場が決まった選手などへの激励金贈呈式が12月15日、役場で行われました。激励金を贈呈した佐藤教育長は、「持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待しています」と激励しました。

各種大会の出場選手などは次のとおりです。（敬称略）

■2025フォルモサカップ全国少年野球大会
石井琉稀（るいき）　菅野彪斗（ひゅうと）
石井孝多郎（コーチ）

■第9回CBS少年軟式野球「6年生選抜大会」全国大会
石井琉稀　菅野彪斗
大橋優久（ゆうく）　菅野結月（ゆづき）
古山泰成（たいせい）　澤﨑絢斗（あやと）

▲激励金を受け取る福島NORTH FIRE野球クラブのみなさん

【福島NORTH FIRE野球クラブ】
桑折町民を中心とした学童軟式野球チーム。桑折町民グランドを拠点に木曜日、日曜日（土曜や祝日の場合もあり）元気に活動しています。団員は2年生から6年生まで約30人。県北地区などで行われる各種大会にも参加しています。現在、一緒に野球をする団員を募集中です！
問　蓬田剛志　☎582-2126（職場）

110番の適切な利用を呼び掛け
福島県警110番の日広報活動

110番の正しい利用方法と重要性を広めるために定められた「110番の日（1月10日）」を前に、110番の日広報活動が1月9日、福島県警本部で行われました。当日は、県内各自治体や各メディアから53のキャラクターが集結。桑折町からはホタピーが参加し、広報活動推進員に任命されました。キャラクターたちは通信指令室を見学するなど広報活動を通じて、110番通報を適切に行うよう呼びかけました。

▶小松聖英通信指令課長から委嘱状を受け取るホタピー

▶門松を寄贈した半沢さん（左から2番目）

新春を告げる門松が役場玄関に
半沢勇一さんが寄贈

半沢勇一さんから、門松2基をご寄贈いただきました。寄贈された門松は町役場庁舎正面玄関前に設置され、来庁者の皆さんを凛とした佇まいで迎えました。

細部まで美しく整えられた見事な門松に、正面玄関前で足を止め、飾りなどに目を向けながら見入る来庁者の姿も見られました。門松は、1月中旬まで役場正面玄関前を彩りながら、新春の清々しさとともに新しい一年の始まりを感じさせました。

pickup 醸芳幼稚園年長組発表会

醸芳幼稚園年長組の発表会が12月19日、同園で開かれ、いるか組とくじら組がそれぞれ劇を発表しました。声の掛け合いやダンス、縄跳び、楽器の演奏など、さまざまな演目を一生懸命に披露。成長した園児らの姿に、会場に集まった保護者のみなさんからは、大きな拍手が送られました。

広　告

早めの対策が肝心です
知っておきたい「フレイル」のこと

加齢とともに心と体の状態が弱くなってきた状態のことを「フレイル」といいます。早めの対策で予防や改善が期待でき、健康寿命を延ばすことが可能です。

人生100年時代を自分らしくいきいきと歩んでいくために、フレイル予防を始めましょう。

■まずは自分の状態をチェック！

当てはまる項目が多いほど、フレイルのおそれがあります。

1つ～2つ当てはまったらプレフレイル（フレイル予備軍）、3つ以上当てはまったらフレイル状態です。早めに予防・改善に努めましょう。

フレイル診断チェックシート

- 6ヶ月間で、意図せず体重が2kg以上減った
- ペットボトルのふたが開けにくくなった（握力：男性28kg、女性18kgより低い）
- （ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする
- 横断歩道を青信号の間に渡りきることが難しくなった（歩いて、1秒間に1m進めない速さ）
- ウォーキングなどの軽い運動や体操を週に1回もしていない

1つでもあてはまる人は
元気なうちから予防しましょう！

3つ以上あてはまる人は
すでにフレイル状態です！
早めの対策で改善しましょう！

国立長寿医療研究センター　日本版フレイル基準（改定 J-CHS 基準）　一部改変

定期的に健康診断を受けて
自分の体の状態を知りましょう

■フレイル予防と健康長寿のための3本柱＋1

フレイルを予防するために大切なのは、「人とつながる（社会参加）」「体を動かす（運動）」「いろいろ食べる（栄養）」＋「口腔ケア」です。

これらの柱は、規則正しく、メリハリのある生活習慣を土台として成り立ちます。

フレイルの入り口は人によって違います。3本柱＋1のうち、どれか1本でも欠けてしまうと、生活が不活発となり、さらに体が弱ってしまう悪循環に陥りやすくなります。普段の生活を振り返り、できることから改善して、継続して取り組むことが大切です。

社会参加　つながる　フレイル予防

できるだけ外出や交流をしよう

地域に出て人とつながり、生きがいや楽しみ、目標などを持ち続けることがフレイル予防には大切です。
趣味の集まりやボランティア活動、スポーツ、友人とのおしゃべり、仕事など、外と関わる機会をたくさん持ちましょう。
家庭の中で役割を持って暮らすことも社会参加の一つです。

できることから社会参加を！

買い物、通院、散歩に出かける
友人や知人と会うための連絡をする
地域の活動を探してみる
家庭での役割分担をする

他にも… 地域では、様々なサロンやオリジナルの健康体操など、多様な活動が行われています。詳しくは各市町村へお問合せください。

栄養　食べる　フレイル予防

たんぱく質を中心に、いろいろ組み合わせて食べよう

- 3食しっかりとりましょう。
- 多くの種類の食品を組み合わせて食べましょう。

フレイル予防には、多様な栄養素が必要です。たんぱく質を中心に、いろいろな食品を組み合わせましょう。肉や魚などのたんぱく質は、1日に食べる量が同じでも、夕食に偏って食べた場合より、朝昼夕それぞれに食べた方が、筋肉が多く作られることがわかっています。

毎日なるべく12種類を取り入れることを心がけましょう
※持病がある方は、主治医の指示にしたがってください。

「ふくしま健康応援メニュー」でおいしく、バランスの良い食事を取りましょう！
オリジナルメニューはコチラ！ ふくしま健康応援メニュー 検索

運動　動く　フレイル予防

今より10分多く、できる範囲で元気に動こう

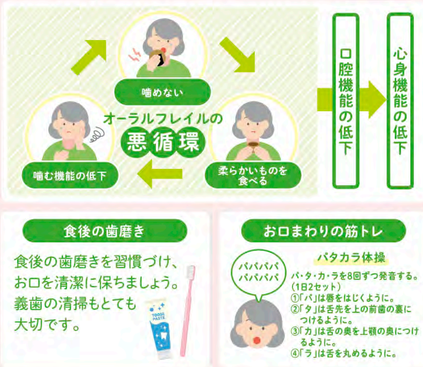
運動は、筋力向上のほか、食欲や心の健康にも良い影響があります。「座りっぱなしの時間を減らす」を合言葉に、座ったままできる体操をしたり、近所の用事は歩いて行ったり、なるべく階段を使ったりしてみましょう。日常生活で続けられるものを、無理なく安全に行うことが大切です。

※ご自身の体調に合わせて無理なく行なってください

口腔　オーラルフレイル

しっかり噛んで、しっかり食べよう

オーラルフレイルとは、お口まわりのフレイルのことです。
会話がしづらいことで人との交流が減ったり、食欲低下や食べ物の偏りに繋がったりして、全身のフレイルの危険を高めます。
オーラルフレイルの始まりは、滑舌が悪くなる、食べこぼす、わずかにむせる、口が渇くなどささいなものです。
お口のささいな衰えは見逃しやすいため、普段から気にかけることが大切です。
定期的に歯科医院を受診しましょう。



（『福島県保健福祉部フレイル予防普及啓発記事』より転載）

■桑折町の介護予防の取り組み（一部）のご紹介

①いきいき百歳体操

住民主体の通いの場で「いきいき百歳体操」が各地区で行われており、現在21グループ、約300人が活動しています。

令和7年度は、健康講話や体力測定会も開催しました。参加者同士でお話したり、体操で体を動かしたりと、楽しく健康を維持しましょう。

②元気・いきいき体操

公民館で、マットとボールを使った介護予防教室を開催しています。

（第1・2・4火曜日：桑折公民館、第3火曜日：伊達崎公民館）

右記事業に関するお問い合わせ、参加希望は、健康福祉課福祉介護係（☎582-1134または役場④番窓口）までご相談ください。

NEWS

ママ・パパの子育てを応援します

子育てアドバイス

「桑折町こども家庭センター すくすく」
～妊娠、出産、子育てについての総合相談窓口です～

町では妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行い、子どもたちの健やかな成長を手助けするため「桑折町こども家庭センター すくすく」を設置しています。子育て相談や子育て支援事業、子育てに関する情報提供など、子育て世帯の皆さんをサポートします。

また、18歳未満のお子さんやご家族の不安や悩みを一緒に考え、関係機関と連携し、必要な情報提供や支援を継続的に行っていますので、ご相談ください。

事業内容

☆子育て相談

専門のスタッフ（保健師、助産師、保育士、管理栄養士）がお子さんやご家族の様々な不安や悩みなどの相談にお応えします。

お気軽にご相談ください。

【相談内容】例えば

- 初めての妊娠、出産で心配
- 落ち着きがない、言葉を話さない
- 離乳食って何を食べさせればいいの？
- 町の子育て支援について知りたい
- 母乳の量、足りてるかな？
- 近所に心配な子どもがいる　など

◎電話相談　☎024-582-6045
◎来所相談　「桑折町こども家庭センターすくすく」にお越しください。
　桑折町役場　健康福祉課　子育て支援係（1階）
◎メール相談　メールフォームに必要事項を記入し送信してください。
◎町ホームページ　https://www.town.koori.fukushima.jp内
　ホーム＞子育てサイト＞相談＞子育て相談
◎受付時間　午前8時30分～午後5時（土・日、祝祭日を除く）メール相談への返信もこの時間になります。

問合せ

桑折町こども家庭センターすくすく
☎024-582-6045

メールの相談は
こちらからどうぞ

Information

むし歯のない子

3歳6か月児健診で、むし歯のなかったお子さんを紹介します。

山我 旺（やまが おう）さん

安彦 凛花（あびこ りはな）さん

小野 柚和（おの ゆずな）さん

早田 珠乃（はやた じゅの）さん

佐藤 菜乃羽（さとう なのは）さん

佐藤 結珠樹（さとう ゆずき）さん

石幡 唯（いしはた ゆい）さん

遠藤 蓮也（えんどう れんや）さん

髙橋 飛貴（たかはし ひだか）さん

田辺 零侍（たなべ れいじ）さん

佐藤 彗太（さとう けいた）さん

井戸川 福（いどがわ ふく）さん

道喜 七海（どうき ななみ）さん

管理栄養士の
おすすめレシピ

チリコンカン

塩分 1.3g

ここがポイント！

チリコンカンは、メキシコ料理に由来するアメリカの郷土料理として古くから親しまれているものです。
辛いものが苦手な方や小さいお子さんは、チリパウダーの量で辛さを調節して一緒に食べることができます。
豆類とひき肉で、たんぱく質をしっかりとることができるメニューです。また豆類に含まれる食物繊維は腸内環境の改善にも役立ちます。
ご飯にかけたり、パンを添えたり、とろけるチーズをのせてドリア風にするなど、いろいろな食べ方があります。ぜひお試しください。

■材料（4人分）

- 牛・豚合いびき肉 …… 240 g
- 玉ねぎ …… 80 g
- トマト水煮缶 …… 200 g
- ケチャップ …… 小さじ2
- カレー粉 …… 小さじ1
- 塩 …… 2 g
- こしょう …… 少々
- チリパウダー …… 少々
- サラダ油 …… 小さじ1
- ミックスビーンズ …… 100 g
- パセリ …… 適量
- フランスパン …… 8切れ

■作り方

1. 玉ねぎはみじん切りにする。
2. フライパンに油を熱し、合いびき肉と①を入れて炒める。肉の色が変わったら、トマト水煮を加えて煮る。
3. ②にミックスビーンズとケチャップ、カレー粉を入れ、汁気がなくなるまで炒め、チリパウダーをふり、塩・こしょうで味を調える。
4. 器に盛り付けて、刻んだパセリをのせ、フランスパンを添える。

【1人分の栄養価】 エネルギー 162kcal/たんぱく質 9.2g/脂質 7.5g/カルシウム 29mg/鉄 1.7mg/塩分 1.3g

献血団体・献血推進団体表彰について

献血団体・献血推進団体表彰式が 10 月 15 日、日本赤十字社福島県支部で開かれました。これは、永年にわたり日本赤十字社の献血事業に功労した団体に対し、表彰を行ったものです。献血事業にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。表彰された団体は次のとおりです。（敬称略）

- 支部長感謝状（金枠・活動継続 10 年以上）
  （株）日下部工業所、（株）福島フソー
- 支部長感謝状（銀枠・活動継続 5 年以上）
  吉川紙業（株）、福島信用金庫桑折支店、桑折ライオンズクラブ

広　告

図書だより

問遊学館よも～よ　☎ 582-5388

今月のおすすめ　蝶にちょうっと関わる本

◆三頭の蝶の道
山田詠美 / 著
河出書房新社

一般書

「男とか女とかじゃないのよ、文学に魅入られているか、いないか、なのよ」。

女性作家が「女流」と呼ばれた時代、文学に身を捧げた女たちの創作の業を描く、著者40周年記念作。

実在の作家をモデルに、作家同士の刺激的な関係性や編集者との関係、文学への真摯な姿勢を通して、「男でも女でもなく、ただ文学に魅入られた者」としての生き様を、華やかでありながらも孤独で過酷な世界観で描く物語です。

◆超チョウ図鑑
tupera tupera/ 作　アリス館

児童書

「チョウ」と言ったらどんなチョウを思い浮かべますか？ひらひらと舞うモンシロチョウ？美しい羽のアゲハチョウ・・・？私たちの知っている昆虫のチョウを超えたチョウを紹介する超驚きの図鑑です。

例えば「ホウチョウ科」には「チュウカボウチョウ」「デバボウチョウ」などが載っています。「ハタラキチョウ科」には「シャチョウ」「ガッコウチョウ」「テンチョウ」などが載っています。

人気作家のtupera tuperaさんが描く色彩豊かで個性的な超チョウと、そんなチョウもアリ？とにっこりするような超チョウの名前や生態系の説明文をぜひ手に取ってご覧ください。開けば本自体がかわいいチョウの形です。

Information
歴史だより

冬の夜を彩る重要文化財
旧伊達郡役所ライトアップ

年末年始にふるさとへ帰省したみなさんを温かく迎えようと、12月20日から1月13日まで国指定重要文化財である旧伊達郡役所のライトアップを実施しました。期間中は、毎日午後5時から午後9時まで、明治時代の擬洋風庁舎が光に照らされ、幻想的に浮かび上がり、冬の澄んだ空気の中に厳かな雰囲気が広がりました。歴史ある建物が織りなす美しい夜景を一目見ようと、写真撮影を楽しむ家族連れや散策を楽しむカップルなど多くの人々が訪れ、心に残る特別なひとときを過ごしました。

マルベリーこおり

問事務局　☎ 582-3129

みんなでスポーツしよう！
伊達崎小学校体育館

伊達崎小学校体育館では毎週木曜日、小学生を中心に約20人がバドミントンやバスケットボール、バレーボール、縄跳びなど、さまざまなスポーツを行っています。また、全員で楽しむメニューを学年毎に週替わりで考え、鬼ごっこやドッジボールなどで元気いっぱい体を動かしています！

◆開催日　木曜日　19:00 ～ 20:30
◆参加料　会員無料/非会員 200円

マルベリーこおりでは、各地区学校体育館を“スポーツの場”として提供し、スポーツを楽しみながら、体力向上と青少年健全育成に努めています。

INVITING COMMUNITY ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

食卓に「世界のレシピ」
チリコンカン作り

成人講座「旅行気分！世界のレシピ料理教室～チリコンカンを作る～」が12月17日、やすらぎ園で開かれ、19人が参加しました。今回のレシピは、メキシコ発祥・アメリカの家庭料理「チリコンカン」。町の栄養士から減塩や健康的な調理法などを教わりながら楽しく調理しました。

たっぷりの豆とひき肉を使用した、カレー風味が特徴のチリコンカンですが、参加者のうち食べた経験があったのはわずか1人。ほとんどが初めての料理に挑戦しましたが、手際よく、丁寧な包丁さばきで完成させることができました。

スパイシーながらトマトのコクでまろやかな味わいに、「思ったより食べやすい！」との声も。パンと一緒に楽しみ、えびアボカドのサラダも添えて、栄養満点。国際色豊かなメニューを楽しみました。

デジカメで探検
ジュニアフォトグラファーズ

キッズスクール「ジュニアフォトグラファーズ」が11月24日、イコーゼで行われました。講師は福島キヤノン株式会社のスタッフが務め、参加した子ども15人がカメラの基本操作や撮影のコツを楽しく学びました。講習後は、ふれあい公園へ移動して実践撮影。子どもたちは上を見上げて空や木々を切り取ったり、寝転がって低い目線から撮ったりと、自由な発想でシャッターを切っていました。レンズを通して地域の良さをあらためて発見する機会となりました。

AIをもっと身近に
ゼロからわかる！AI活用講座

「ゼロからわかる！AI活用の第一歩」が12月10日、イコーゼで開かれ、23人が参加しました。講師に福島県よろず支援拠点ITコーディネーターの菊地匡さんを迎え、まずはAIの基礎を学習。その後、実際にスマートフォンやパソコンを使い、AIによる文書作成や写真加工を体験しました。参加者は、身近なツールで最先端技術に触れ、AIの便利さや楽しさを実感。「難しそう」というイメージを払拭し、活用への第一歩を踏み出しました。

Dreams come true.

わたしの夢

安藤 心海（ここみ）さん　　醸芳中3年生

変化に気付く大切さを胸に
子どもの成長を支える仕事を目指して

私の夢は、保育士など子どもと関わる仕事に就くことです。小学生のころから、年下のいとこの面倒をよく見ていました。一緒に遊び、勉強などを教える中で、折り紙が折れるようになったり、平仮名が書けるようになったりする姿を見るのがうれしく、将来は子どもと関わる仕事がしたいと思うようになりました。子どもは、自分の気持ちを上手く表現できない分、大人がその変化に気付いてあげることが大切だと思います。私の友達に、周りの変化によく気付き、みんなを明るくしてくれる人がいます。その友達の姿はかっこよく、とても尊敬しています。私も困っている人に気付けるような大人になれるように、日ごろからさまざまなことを観察したり、積極的にコミュニケーションを取ったりしながら、将来の夢に向かって一歩ずつ進んでいきたいです。

まちのお知らせ
Town information.

マイナンバーカード申請サポート

出張申請受付を行っています

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！
完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象
企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）

■対応日時
原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間

■お願い
会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体でお願いします。

問税務住民課　住民国保係　☎582-2114

広　告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

問総合政策課　☎582-2115

3月8日は「国際女性デー」
ジェンダー平等、女性活躍について考えよう

「国際女性デー」は、1975年3月8日に国連で提唱され、その後、1977年に国連総会で議決されました。毎年、世界各国でジェンダー平等、女性活躍などについて考える機会となっています。みなさんも、家庭や職場で一緒に考え、取り組んでみましょう。

「とも家事」に取り組んでみましょう
～共に思い、共にやる、とも家事～

「とも家事」とは性別にかかわらず共に協力し合って家事に取り組むことです。県では誰もが活躍できる社会の実現を目指し、「とも家事」を推進しています。各家庭の満足度を高めるとともに、県全体の女性活躍の推進にもつながりますので、まずは、家庭で、パートナー同士で話し合うことから始めてみましょう。

福島県の状況

共働き世帯が増加しており50％を超えていますが、家事の負担は依然として女性に偏りがちです。また、県内企業における男女共同参画の状況（女性の昇進・参画）に関して、約半数の企業が女性の活躍には家庭生活との両立が課題であると考えています。

ふくしまアンコン解消アクション
～思い込みに気づけば　未来が変わる～

私たちは、何かを見たり、聞いたり、感じたりしたときに、無意識に「こうだ」と思い込むことがあります。これをアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）と言い、無意識に相手を傷つけてしまうことがあります。無意識なので気づきにくいかもしれませんが、だからこそ「気づこうとする」ことを大切にしてください。

たとえば・・・

- 血液型を聞くと、とっさに「きっとこんな性格だ」と思う。
- 「親が単身赴任中」と聞くと、父親を思いうかべる。

など、アンコンは日常にあふれています。「これって私のアンコン？」と振り返ってみましょう。

町のごみ排出量
※1人1日あたりの排出量
令和7年12月 **1,047g** 前月比+106g
（令和6年12月 979g　前年比+68g）

分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合のホームページで検索

広　告

2 FEBRUARY 2026 くらしのカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
●成人講座 ●子ども向け講座 ㊐休日当番医 ◆母子手帳交付 すくすくの日 (☎582-6045) へ事前連絡	2 ・広報2月号発行 ・お知らせ版発行 ・手話体験講座 第51回衆議院議員総選挙 期日前投票 (役場1階町民ロビー)	3 4・7ヵ月健診 (R7年9・6月生)	4 離乳食教室	5	6◆	7
8 第51回 衆議院議員 総選挙投票日 (各地区公民館) ㊐かしの木内科クリニック ☎551-1411	9	10 ・陶芸教室 ・10、11ヵ月健診 (R7年2・3月生) ・健康チェック& 相談日	11 建国記念の日 ㊐ゆう愛クリニック ☎586-1315	12 オレンジカフェ	13◆ 申告相談日 (年金収入のみ)	14 ・郡役所deワーク ショップ ・桑折学習塾 (中1・2年生)
15 ・科学実験教室 ・如月杯「囲碁・ 将棋大会」 ・郡役所deワーク ショップ ㊐桑名医院 ☎583-3024 ㊐伊藤皮フ科クリニック ☎551-1121	16 申告相談日 (年金収入のみ)	17	18 お知らせ版発行 申告相談日 (桑折地区)	19 ・初めてのスマホ 講座 ・すくすくキッチン	20◆	21
22 ㊐こばやし子ども・内科クリニック ☎577-0663	23 天皇誕生日 申告相談日 (全地区) ㊐村上医院 ☎585-2152	24 すくすくカフェ 申告相談日 (桑折地区)	25 申告相談日 (睦合地区)	26	27◆ 落語・演芸鑑賞	28 桑折学習塾 (中1・2年生閉講式)
1 ㊐すずき医院 ☎575-2563	2 申告相談日 (半田地区)	3 4・7ヵ月健診 (R7年10・7月生)	4 ・広報3月号発行 ・お知らせ版発行	5	6◆ 洗顔からの美肌 レッスン講座	7

【編集後記】

▶私の家にはこたつがありません。こたつは大好きですが、布団を洗濯する手間や一度座ったら二度と立ち上がれないことを考えると、簡単に置いてはいけない代物だと思うのです。こたつを天国たらしめるのは、こたつでぬくぬくしている自分の代わりに動いてくれる親がいたからこそなんだと自分が親になって気付かされました。今、自宅にこたつを置いたらどちらが立つか争いの火種になるのでやっぱりやめておこうと夫婦で結論付けました（大越）

◆人口（前月比）1月1日付

人口 ※住民基本台帳/外国人含む	計	10,802人	(−7)
	男	5,270人	(−3)
	女	5,532人	(−4)
世帯数		4,677世帯	(−2)
転入	27人	出生	2人
転出	19人	死亡	17人

◆今月の納税

- 国民健康保険税（普通徴収8期）
- 介護保険料（普通徴収8期）
- 後期高齢者医療保険（普通徴収7期）

期限 3月2日(月)

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日午後5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。

Koori Town Public Relations Magazine
発行／桑折町 〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7
tel 024-582-2111（代）／fax 024-582-2479